

授業科目名 英 文 名 ナンバリングコード	教養特殊講義 現代社会と法 地球から地域へ一時空を超えた知識経営		授業科目区分				職名	担当教員	
	対象学期	対象学年	単位数	授業方法					
	99905 II AJ		夏期集中	2年	2単位	講義	教授	八坂 徳明	
授業概要	<p>コンセプト：現代社会と法の視点に、知識経営のコンセプトを加え、国際社会が抱える法的な問題と、国際社会と地域社会を繋ぐ課題、国際社会のなかでの地方が抱える問題を考える。</p> <p>講義は、地球編・地域編の2部構成とし、地球編では富山にゆかりがあり国際社会・国家中枢で活躍された著名人を招聘、地域編は、理論編・地域経営編・地方自治編で構成され、理論編は、大学研究者による理論の提示、地域経営編は、富山から世界へ発信を続ける新進気鋭の若手経営者による経営実践、地方自治編は、富山において地域活性化のために先進的な取組に挑む首長等から「地域明るく実践編」と称し、ご講話を頂く。講義を通して、本学講師陣による法的要素の補完も行う。</p> <p>【授業の狙い】本授業は、「課題解決の過程を分析し、論理的思考力を身につける」（ディプロマ・ポリシー2）、及び、「総合的学修による問題探求力、問題解決能力を身に着ける」（カリキュラムポリシー6）を狙いとします</p> <p>【コースとの関連】公共政策コース、企業経営コースにおいて重要な科目である</p>								
到達目標	<p>以下の習得を目指す</p> <p>①国際社会が抱える法的な問題を考える力を養う。</p> <p>②国際社会と地域社会を繋ぐ課題と課題解決策の提示</p> <p>③現代社会のなかで、地方活性化の糸口を考察する能力を養う</p>								
実務経験の有無	○	実務経験のある教員等による授業科目の学修成果		各講師の実務経験等の知見を学ぶ					
コンピテンシー(行動特性) 「伸ばすことのできる能力」	協調性		傾聴力		創造力		論理的思考力		
	○		◎		◎		◎		
講義方法	オムニバス方式による講義形式である。								
授業計画	回数	内容							
	第1回	9月4日(月) 2限	地球編：国際情勢と国際法 ーロシア・ウクライナ紛争と中立法の現代的位相について検討するー (高岡法科大学教授 吉田靖之氏)						
	第2回	9月4日(月) 3限	地球編：東アジアの歴史的国際秩序 ー中国・ロシア・インドといった、新大国を試行する国々の間で、東アジア諸国の外交政策を占うー (高岡法科大学客員教授 元在中国全権大使、元在トルコ全権大使 横井裕氏)						
	第3回	9月4日(月) 4限	地球編：現在の国際情勢と中国 ー習近平体制の中国の現状と米中・日本・韓国の外交政策の行方を占うー (高岡法科大学客員教授、元在中国全権大使、元在トルコ全権大使 横井裕氏)						
	第4回	9月5日(火) 2限	地球編：「現代の北前船」商社の挑戦 ー地方におけるモノづくりの視点から、イノベーションのシーズを発掘し、世界に挑む実践を語るー (ホクセイプロダクツ株式会社代表取締役 富田昇太郎氏)						
	第5回	9月5日(火) 3限	地球編：国際情勢と環境 ー国際情勢のなかでの、脱炭素・SDGsの諸問題、地球環境問題を考えるー (日本スチール株式会社顧問、元環境省事務次官 中井徳太郎氏)						
	第6回	9月5日(火) 4限	地球編：地域社会と環境 ー脱炭素・SDGsの諸問題を踏まえ、地域社会と炭素税の在り方を考える (日本スチール株式会社顧問、元環境省事務次官 中井徳太郎氏)						
	第7回	9月6日(水) 2限	地域編(地方自治)：人 自然 食 文化で未来を拓く交流都市 市 ー「住みたい街」、「働きたい街」、「育てたい街」、 「市民とともに作る持続可能なまち」のまちづくりの取り組みを語るー (水見市副市長 篠田伸二氏)						
	第8回	9月6日(水) 3限	地域経営編：グローバル時代の知識創造自治体(理論編) ーナレッジマネジメントによる地域共創モデル としての地域創造自治体を考えるー (北陸先端科学技術大学院大学名誉教授 梅本勝博氏)						
	第9回	9月6日(水) 4限	地域経営編：グローバル時代の知識創造自治体(実践編) ー地域レベルでのナレッジマネジメントの必要性を問うー (知識創造自治体におけるエスニック・ビジネスや地元経済への貢献) (北陸先端科学技術大学院大学名誉教授 梅本勝博氏)						
	第10回	9月7日(木) 2限	地域経営編：「人と、地域と、能作」地方から世界へ ー鋳物メーカーがプライダル、観光、カフェ… 「モノづくり」から「コトづくり」へー (株式会社能作代表取締役社長 能作千春氏)						
	第11回	9月7日(木) 3限	地域経営編：「We create. 私たちは、つくる」地方から世界へ ー資源循環社会への先進的取り組み：世界初の リサイクルグループをつくる！ (ハリタ金属株式会社代表取締役 張田 真)						
	第12回	9月7日(木) 4限	地域編：地域づくりの経済学入門(本当の地域づくりとは) ー経済のグローバル化の進展のなかで、どのように自分 たちの住む地域を「活性化」あるいは発展させればよいかを考えるー (京大名誉教授・京都橋大学教授 岡田知弘氏)						
	第13回	9月8日(金) 2限	地域編：総括：世界に誇れる「一流の田舎」を目指す南砺市の取り組み ー誰ひとり取り残さない 誰もが 笑顔で暮らし続けられるまちへの実現に向けてー (南砺市長 田中幹夫氏)						
	第14回	9月8日(金) 3限	地球編：総括：環境法概論 ー環境法とSDGsを法律の視点から考えるー (高岡法科大学准教授 渡部朗子氏)						
第15回	9月8日(金) 4限	総括：地球から地域へ、そして、地域から地球へ ーまとめ：現代社会と法の視点及び国内外での様々な課題を 踏まえ、地域社会の未来を探るー (高岡法科大学副学長 高橋正樹氏/同副学長・学部長 八坂徳明氏)							
評価方法	講義への参加度(課題提出、質問等)40%、レポート提出60%を目途に総合的に判断する。								
課題(試験やレポート等)の フィードバック方法	課題・レポート等の提出には、Googleクラスルームを活用する。必要に応じ、限定コメントを利用するなどしてフィードバックを行う。								
使用資料	テキスト	各講義時に資料・レジュメを配布する。							
	参考図書	必要に応じ、各講義担当者により、各講義回において紹介する。							
受講上の注意、 備考など	<p>地元ゆかりのある各界からの著名人をお招きする講義につき、礼を尽くして受講すること。他大学の学生・一般受講の方の多数の聴講も見込まれることから高岡法科大学生として礼節をわきまえ、誇りをもって参加すること(目に余る受講態度の場合は、以降の受講を認めないこともある)。</p> <p>レポートを評価対象とするので、なるべく講義中のメモをとること。</p>								
事前・事後 学習 (学習課題)	事前	各講義テーマについて、各自興味のあることなどを事前に調べておいてほしい。 講義において質疑応答の時間が設けられるので、疑問に思ったことなどを質問できるように準備しておいてください。(30分)							
	事後	講義を聴いたあと、質疑応答の内容等について復習するなどし、各テーマについて自分で考える時間を設けてほしい。(30分)							
オフィスアワー	授業終了後～								